



エコツアー推進事業（自主事業）
大野・和泉⇄岐阜・石徹白 DE サイクリング

平成24年9月9日当協会、エコツアー推進事業としてサイクリングイベントを実施しました。（担当：N4自然環境教育事務所）参加者は7名。朝9時頃に福井県大野市和泉に集合し、9時半頃出発。県を越えて岐阜県の石徹白を目指しました。決して楽な道のりではありませんでしたが、気温も丁度よく、川のせせらぎ、木々の緑を楽しみながら、快適なサイクリングとなりました。

目的地の石徹白では地元の野菜をふんだんに使ったランチと中居神社の神主・石徹白恵治さんによるミニエコツアーも実施され、地域の食・歴史・観光を交えたツアーは参加者からも大変ご好評でした。ランチで食べた野菜も購入可能で、たくさん買い込んでおられる人も見受けられました。

帰路は元来た道を戻り、4時頃大野市に無事到着。事故もなく帰ってきました。

イベント開始時と終了時に参加者3名に「ストレステスト」を実施。サイクリングによるストレス軽減の検証を行いました。参加者Aさん84→65、Bさん30→12、Cさん47→13という結果となり、参加者の皆様には科学的数値と実感として日々のストレス発散・軽減を体感していただく機会となったようです。



石徹白中居神社前



地元食材を使ったランチに舌鼓

50周年記念事業（自主事業）
白山国立公園指定50周年記念式典ブース出展

平成24年11月10日、白山市鶴来総合文化会館「クレイン」にて、今年、各地で行われた「白山国立公園指定50周年記念事業」の総決算として『白山国立公園指定50周年記念式典』が行われました。屋外に設置された「ふれあい広場」にて、いくつかの団体が出展し、当協会もPRブース出展に参加しました。

恒例のパネル展示、パンフレットの配布、オオバコ茶の無料提供に加え、環白山地域の特産品の販売（岐阜・庄川のケイちゃん・福井・勝山のトンちゃんうどん・石徹白のフルーツほおずき、とうもろこし餅・等）も実施しました。お昼時には長蛇の列ができるほどの盛況ぶりでした。

また、五箇山・白川村・白山市の「豆腐」を持ち寄り、「利き豆腐コーナー」を実施。試食してどこの豆腐か当ててもらい、景品をプレゼント。ふれあい広場各所に環白山を題材にしたクイズパネルを設置して、「クイズラリー」を実施。回答者にはハクサンバナナ（（株）アルビス提供）をプレゼントしました。

さまざまな環白山地域の食品・特産品を紹介し、当協会ならではの活動をPRできました。また、白山国立公園に関わる様々な団体の方々、興味を持ってお越しいただいた一般客の方々、そしてお手伝いいただいた会員相互の交流の場としても大いに盛り上がりしました。

式典関係者の皆様、当協会スタッフの皆様大変お疲れ様でした！



ブース出展には大勢の会員が参加

受託事業 外来植物対策事業・外来植物防除業務

今年度も継続して環境省より受託した「外来植物対策・外来植物防除」の両業務を環白山地域各所にて実施しました。

外来植物対策事業ではすでに入り込んでいるオオバコなどの外来種を、白山登山の各拠点にて（市ノ瀬、室堂、南竜、大白川、赤兎など）大勢のボランティアの協力の下、除去していただきました。

外来植物防除業務では、白山の主要な登山口や外来種の分布が見られる箇所に除去マットを設置し、これ以上外来種の分布域が広がらない様、登山者に協力を求めています。



室堂での除去作業

徐々に個体数が減ってきているように
感じられるそうです。

ここ数年、毎年の継続的な事業となり、場所によっては個体数の減少など目に見える成果が表われてきているようです。これだけ頑張ってくださいますが、外来種全てを根絶する事はなかなか難しいものです。少数の人間の力では太刀打ちできるものではありません。常連の参加者の方たちが最もそれを実感していると聞きました。自然の力強さを体感する意味でも、また白山を愛し、情熱をもって取り組んでいる環白山の仲間と交流する機会としても、このイベントに是非参加してみてください！もっと「自然」や「白山」が好きになるかもしれませんよ！



受託事業 サブレンジャー事業（市ノ瀬・室堂・南竜）

白山国立公園では環境省、石川県、白山市、（財）白山観光協会がそれぞれ予算を出し合い、サブレンジャー事業（白山美化清掃事業）を毎年実施しています。当協会はその業務管理を行っています。全国からサブレンジャー（登山道や避難小屋施設等の清掃、軽微な補修等を実施）を募集し、夏山登山時期に応募者へ市ノ瀬・室堂・南竜に振り分けて作業を実施してもらいました。



サブレンジャー入山

こうして「白山」を体験して、また知人に伝えていく連鎖が続いて、白山を好きな人の「環（わ）」がどんどん広がっていくことを期待したいですね。

今年は7月25日～8月19日までの夏山の最盛期、市ノ瀬ビクタセター・白山室堂・南竜山荘を拠点に東京の環境系専門学校生が業務を行いました。大都会の若者たちが突然の大自然の中での生活となり、戸惑いもあったかもしれませんが、頑張って作業に励んでいただきました。短い期間でしたが、給料以外にも白山から得たものがいろいろとあったのではないのでしょうか。また、将来白山を思い出して、友人や家族を連れて白山に遊びに来てくれたらいいですね。



避難小屋の清掃



シャトルバスでの案内